



2023年10月19日

ESG投資を通じたSDGs達成に向けた取組みについて ～宮城県が発行するサステナビリティボンドを購入～

学校法人東北医科薬科大学（理事長 高柳 元明）は、このたび、宮城県が発行するサステナビリティボンド（宮城県公募公債第1回1号（5年・サステナビリティボンド））の購入を決定いたしました。

サステナビリティボンドは、調達資金が環境問題の解決に資するグリーンプロジェクト（海洋保護や持続可能な漁業等に資するブループロジェクトを含む）及び社会課題の解決に資するソーシャルプロジェクトの双方に充当される債券であり、資金使途がSDGsに貢献する事業に特定される「SDGs債」としてESG投資※の対象となります。

「われら真理の扉をひらかむ」を建学の精神とする本学では、医学部、薬学部そして両学部の臨床実習の場である大学病院が連携した教育を通じて、地域社会を支える医療人や研究者など多様な人材を育成しておりますが、教育にとどまらず、本件投資を通じて持続可能な社会の実現に向けた宮城県の取組みに貢献したいと考えております。

【本債券の概要】

銘 柄	宮城県公募公債第1回1号（5年・サステナビリティボンド）
年 限	5年
発行日	2023年10月30日
資金使途	宮城県の、地球温暖化等をはじめとする環境問題の解決に資する県有施設・設備の更新・改修や河川改修等をはじめとした「グリーン適格プロジェクト」、閉鎖循環式陸上養殖研究施設の建設や藻場造成といった海洋保護や持続可能な漁業等に資する「ブルー適格プロジェクト」、様々な社会課題の解決に資する県有施設・設備等の更新・改修をはじめとした幅広い「ソーシャル適格プロジェクト」に充当される予定
関連するSDGs	
その他	本債券の発行にあたり、宮城県は「宮城県サステナビリティファイナンス・フレームワーク」を策定し、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）から、国際資本市場協会（ICMA）が公表するグリーンボンド原則2021、ソーシャルボンド原則2023、サステナビリティボンド・ガイドライン2021、環境省が公表するグリーンボンドガイドライン2022年版、金融庁が公表するソーシャルボンドガイドライン2021年版及び国際金融公社（IFC）が公表するブルーファイナンスのガイドラインへの適合性に関するセカンドオピニオンを取得

※ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を組み合わせた言葉であり、「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のことをいいます。